



音楽ワークショップ ファシリテーター 養成講座 受講者募集

「音楽」への考え方を、ほぐしてもっと自由に

2018年

1月20日、21日、22日、26日、27日 《全5回》

会場 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ほか

昨年度、穂の国とよはし芸術劇場プラットフォームでは、豊橋市内の小・中学校の児童対象にワークショップ(演劇、ダンス、音楽)を年間80回実施しました。同時にワークショップを進行する人材(ファシリテーター・進行役)を長期的・継続的な視点で地域に育成する連続講座『ワークショップファシリテーター養成講座(演劇)』を2014年から実施しています。

今講座は音楽の持つ魅力と、人と人をつなぐ可能性を中心に考え、地域にどのような人が居て、どのような課題が存在し、その為にどのように音楽ワークショップを活用したらよいかを考え、それを実践できるファシリテーター(進行役)を地域に育成することを目指して行います。

応募
締切

2018年1月12日17時必着

募集中

講師 池田邦太郎 (いけだ・くにたろう)

帝京平成大学現代ライフ学部児童学科講師、NPO法人「音を「楽」しむ ONGAKU」の会理事長。小学校の音楽専科教諭時代に、音を「きく」「つくる」活動を通して音そのものを楽しみ「ONGAKU」の面白さを子供達に指導。その際、身の回りの環境にある物を楽器とする「環楽器」の考え方を提唱し子供達とオリジナル作品を創作してきた。また、音を楽しみ豊かに表現する力を持つ障害児達とピアノを使った「自由連弾」も実践している。平成20年より現職。

野村 誠 (のむら・まこと)

作曲家。1968年名古屋生まれ、京都在住。京大文学部卒業。94年にブリティッシュ・カウンシルの招聘で、英ヨーク大学大学院で1年間イギリスの創造的音楽教育と現代音楽の作曲に関する研究を行い、The British Journal of Music Education(ケンブリッジ大学出版)で、論文を発表。京都女子大学専任講師(01-04年)、NHKEテレ「あいのて」番組監修(06-07年)、京都造形芸術大学客員教授(12-14年)を経て、2014年より、日本センチュリー交響楽団コミュニティ・プログラム・ディレクター。作曲作品は、東京シティフィル、Bochumer Symfoniker、松原勝也、御喜美江、高橋悠治、ほか、多くの演奏家により世界各地で演奏されている。CDに「ノムラノピアノ」(とんつーレコード)、著書に「音楽の未来を作曲する」(晶文社)、「音楽づくりのヒント」(音楽之友社)ほか多数。
<http://www.makotonomura.net/>

吉野さつき

愛知大学文学部メディア芸術専攻准教授・ワークショップコーディネーター。シティ大学大学院(英国)芸術政策経営学部修士課程修了後、公共ホールの文化事業担当を経て、平成13年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、英国で演劇のアウトリーチやエデュケーションプログラムの研修と調査を実施。教育、福祉、ビジネスなどの現場でさまざまなジャンルのアーティストによるワークショップをコーディネートする他、各地の公共ホールや大学などで、アウトリーチ事業やワークショップの企画運営を担う人材育成プログラムにも数多く携わる。文化経済学会(日本)会員。

